

# 2008年上期決算説明会

2008年11月10日

株式会社大阪チタニウムテクノロジー - ズ

# 目 次

---

1. 会社概要
2. 経営概況
3. 2008年度(09/3期)業績見込み  
(08/上期実績 及び 08年度見込み)
4. 特記事項  
    当社製品の市場の現状  
    当社の生産対応

# 会社概要

# 会社プロフィール

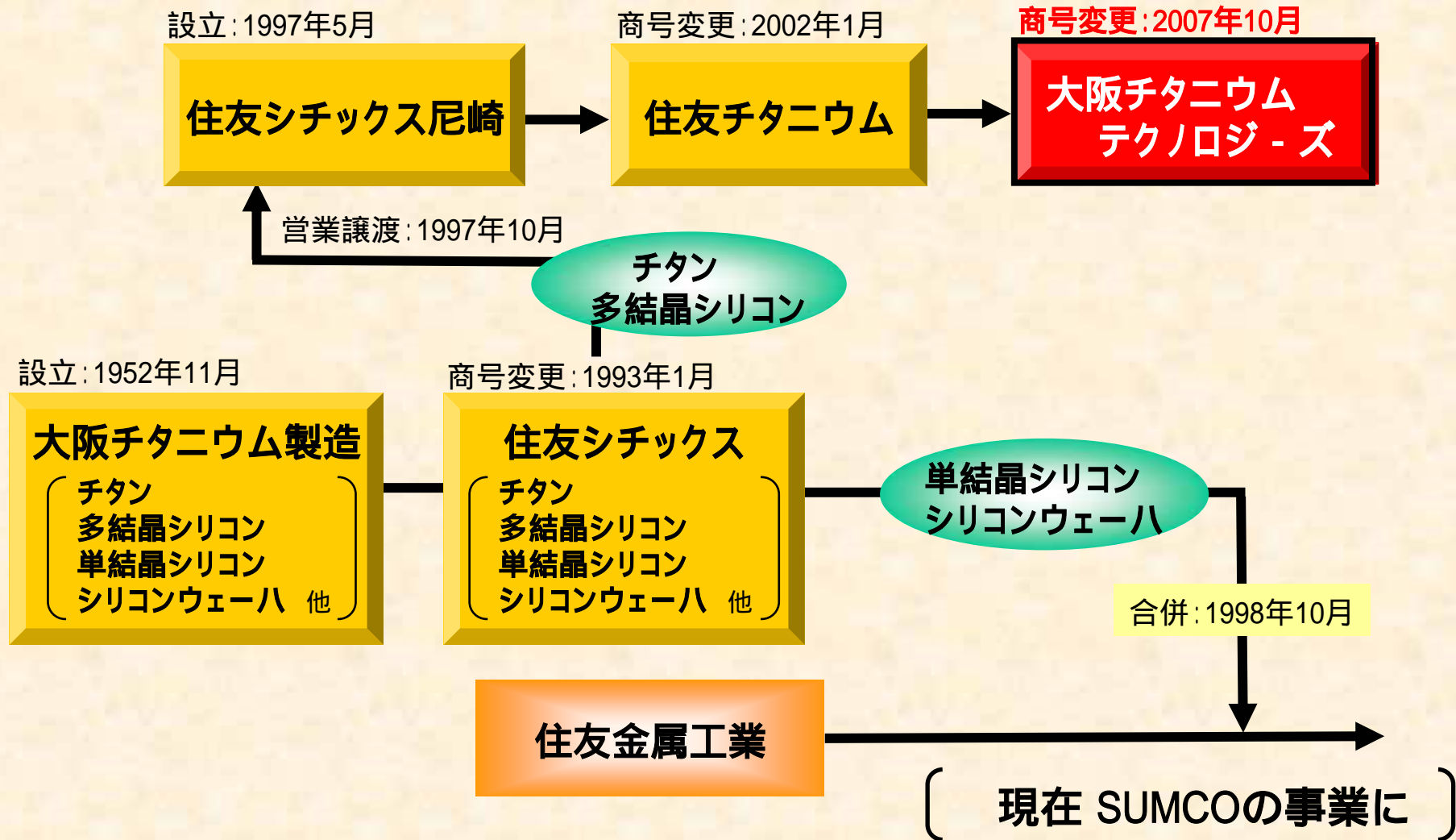
---

- 本社 : 尼崎市東浜町1番地
- 代表者 : 代表取締役社長 橘 昌彰
- 設立 : 1997年5月
- 大株主 : 住友金属工業 23.9%, 神戸製鋼所 23.9%  
(2008年9月末)
- 資本金 : 8739 百万円 (2008年9月末)
- 売上高 : 27834 百万円 (2008年9月期)
- 経常利益 : 9377 百万円 (2008年9月期)
- 当期純利益 : 5424 百万円 (2008年9月期)
- 事業内容 : 金属チタンに係わる「チタン事業」  
半導体関連製品 及び 環境エネルギー関連製品 etc.  
の「その他事業」



(参考)

# 会社沿革



(参考)

# 当社事業の拠点



\* 岸和田製造所

08.3 土地取得  
08.4 工場建設開始

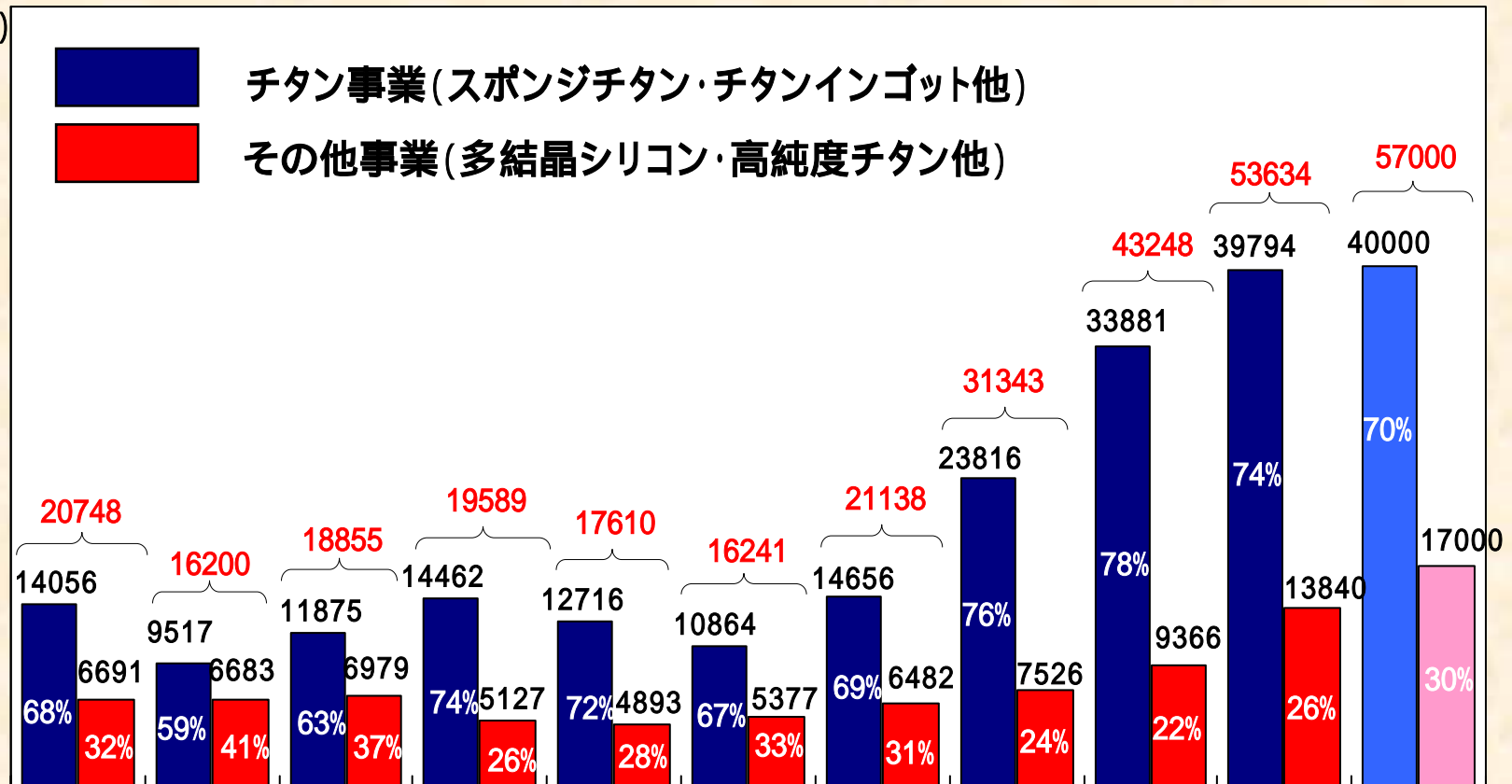
生産開始予定  
09.7 樹脂工場  
09.10 環境・エネルギー関連  
製品工場  
11.4 多結晶シリコン工場

# 經營概況

# 事業別売上高推移

(09/3期) 5期連続過去最高売上高確保の見込み

(百万円)



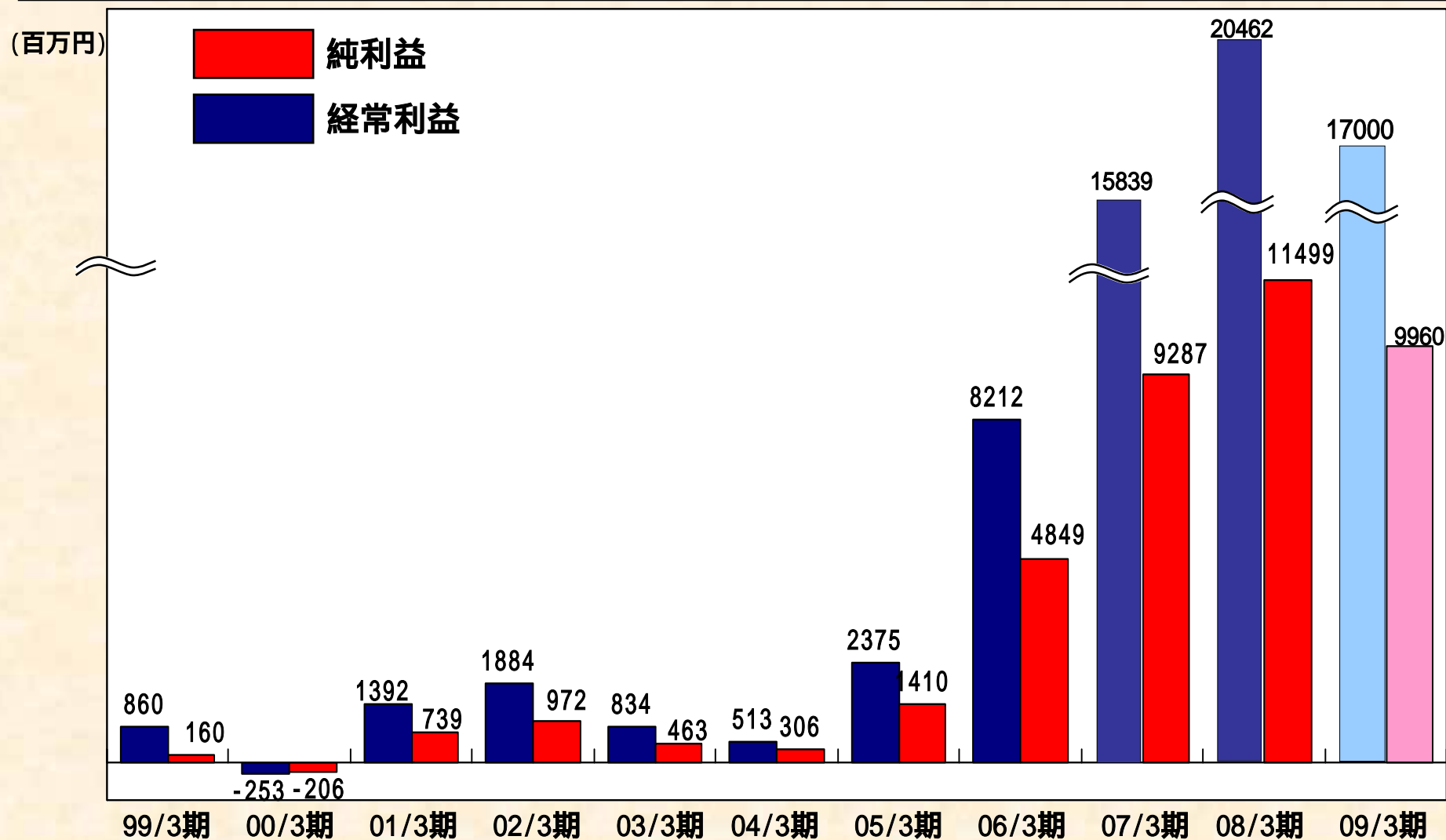
99/3期 00/3期 01/3期 02/3期 03/3期 04/3期 05/3期 06/3期 07/3期 08/3期 09/3期

(見込み)

(08/10発表) 7



# 經常利益・純利益



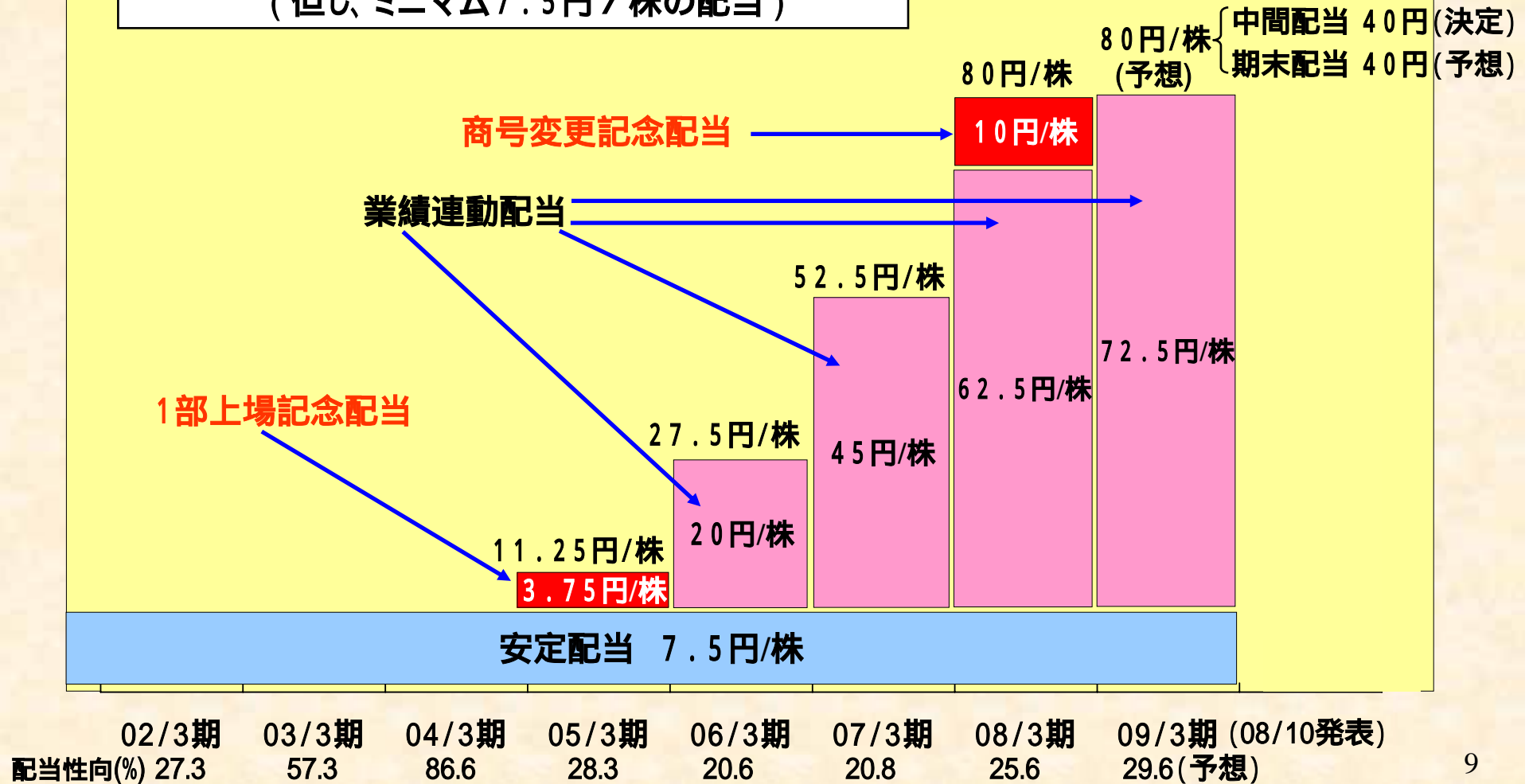
(見込み)  
(08/10発表)<sup>8</sup>

# 一株当たり配当水準について

(~07/3期の一株当たりの配当水準は 08/3期~と比較の為 過去の株式分割を勘案した補正值)

## <配当方針>

- ・目標配当性向 20%  
(但し、ミニマム7.5円/株の配当)



# 2008年度(09/3期)業績見込み

(08/上期実績 及び 08年度見込み)

# 2008年度(見込み)・P / L

対 既(08/4)発表値

## 当期純利益

(百万円)

	08年度見込み(08/4発表)		08年度見込み(08/10発表)			08/4発表
	うち 上期 (見込み)	年度 (見込み)	上期 (実績)	下期 (見込み)	計 (見込み)	08/10発表
チタン	20300	45000	19843	20157	40000	5000
その他	7900	16500	7990	9010	17000	+ 500
売上高	28200	61500	27834	29166	57000	4500
営業利益	9000	20200	9436	7764	17200	3000
営業外損益	100	200	58	142	200	-
経常利益	8900	20000	9377	7623	17000	3000
特別損益	300	400	239	161	400	-
税前当期利益	8600	19600	9138	7462	16600	3000
<b>当期純利益</b>	<b>5160</b>	<b>11760</b>	<b>5424</b>	<b>4536</b>	<b>9960</b>	<b>1800</b>

(為替レート) (105円/\$) (105円/\$)

(106円/\$) (100円/\$) (103円/\$)

(2円/\$ 円高)

# 2008年度業績(見込み)修正の要因

08/4発表値

08/10発表値

(億円)

	項目	影響額		
		売上高	営業利益	
マイナス 要因	・09/1～の輸出スポンジチタンの新規契約の 販売環境(数量面、価格面)悪化 及び これに伴う生産調整	45	27	(*)
	・B級スポンジ価格ダウン	3	3	(*)
	・08/下期の前提為替レート変更(105 100円/\$)	2	2	
	・エネルギーを主体とするコストUP		8	
	小計	50	40	
プラス 要因	・その他事業の拡販 (多結晶シリコン主体)	5	3	
	・コスト圧縮		7	
	小計	5	10	
	合計	45	30	

(\*) 背景となる市場の現況については、4項の特記事項参照

# 2008年度(見込み)・P / L

対 2007年度実績

## 当期純利益

(百万円)

	07年度 (実績)	08年度 (見込み)	07年度(実績) 08年度(見込み)
チタン	39794	40000	+ 206
その他	13840	17000	+ 3160
売上高	53634	57000	+ 3366
営業利益	20961	17200	3761
営業外損益	498	200	+ 298
経常利益	20462	17000	3462
特別損益	1127	400	+ 727
税前当期利益	19335	16600	2735
当期純利益	11499	9960	1539

(為替レート) (115円/\$) (103円/\$)

(12円/\$円高)

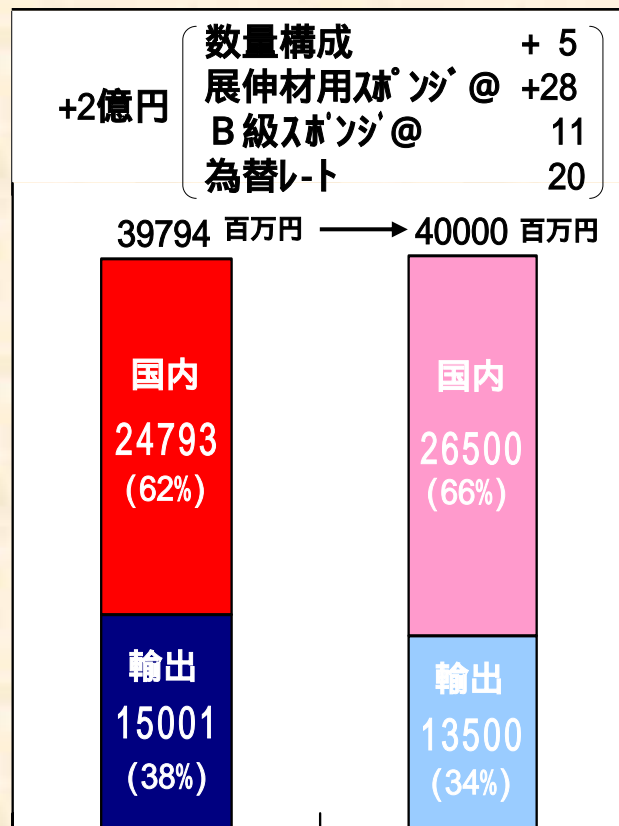
(cf: 一株当たり) <312円/株> <270円/株>

< 42円/株>

営業外損益について	: 為替差損	(07年度)	587	(08年度)	198百万円
特別損益について	: 固定資産etcの除去・撤去損	(07年度)	873	(08年度)	400百万円
	: 関係会社株式評価損	(07年度)	248	(08年度)	- 百万円

# 2008年度(見込み)・売上高の変動要因

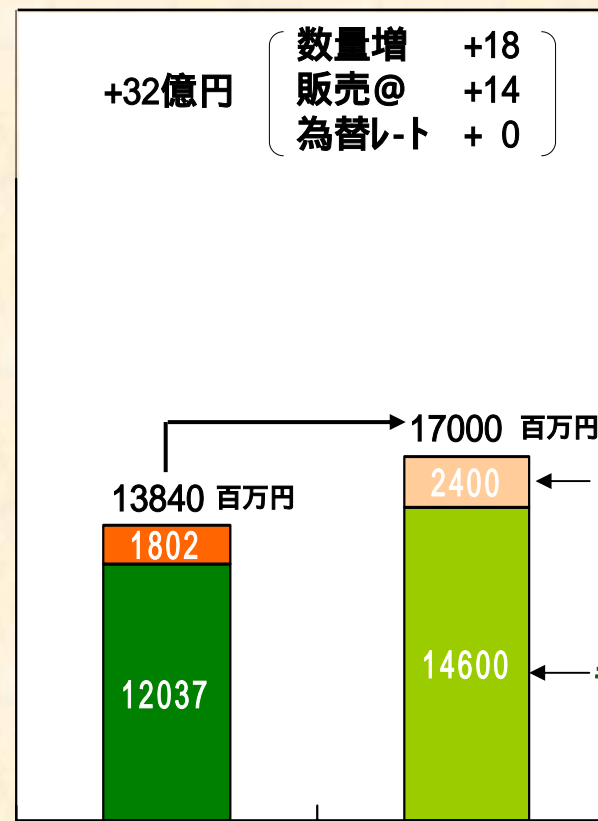
対 2007年度実績



07年度  
(実績)

08年度  
(見込み)  
(08/10発表)

チタン事業



07年度  
(実績)

08年度  
(見込み)  
(08/10発表)

その他事業

# 2008年度(見込み)・営業利益の変動要因

対 2007年度実績

## 営業利益の変動要因

07年度 20961百万円  
(実績)

08年度 17200百万円  
(見込み)  
(08/10発表)

38億円



(億円)

	合計	販売数量・構成	販売価格	レート	コスト	
チタン事業	60	+ 5	展伸材用 スポンジ価格 + 28 B級スポンジ価格 11	(12円/\$円高) 15	償却費 50 他 17	67
その他	+ 22	+ 10	08年度価格 + 14	-	償却費 + 2 他 4	2
計	38	+ 15	+ 31	15	償却費 48 他 21	69



# 2008年度(見込み)・部門別営業利益水準

対 2007年度実績

## 部門別営業利益水準

(百万円)

07年度  
(実績)

	売上高	営業利益	
チタン事業	39794	(42.1)	16750
その他事業	13840	(30.4)	4211
計	53634	(39.1)	20961

( ) 内は対売上高比

(百万円)

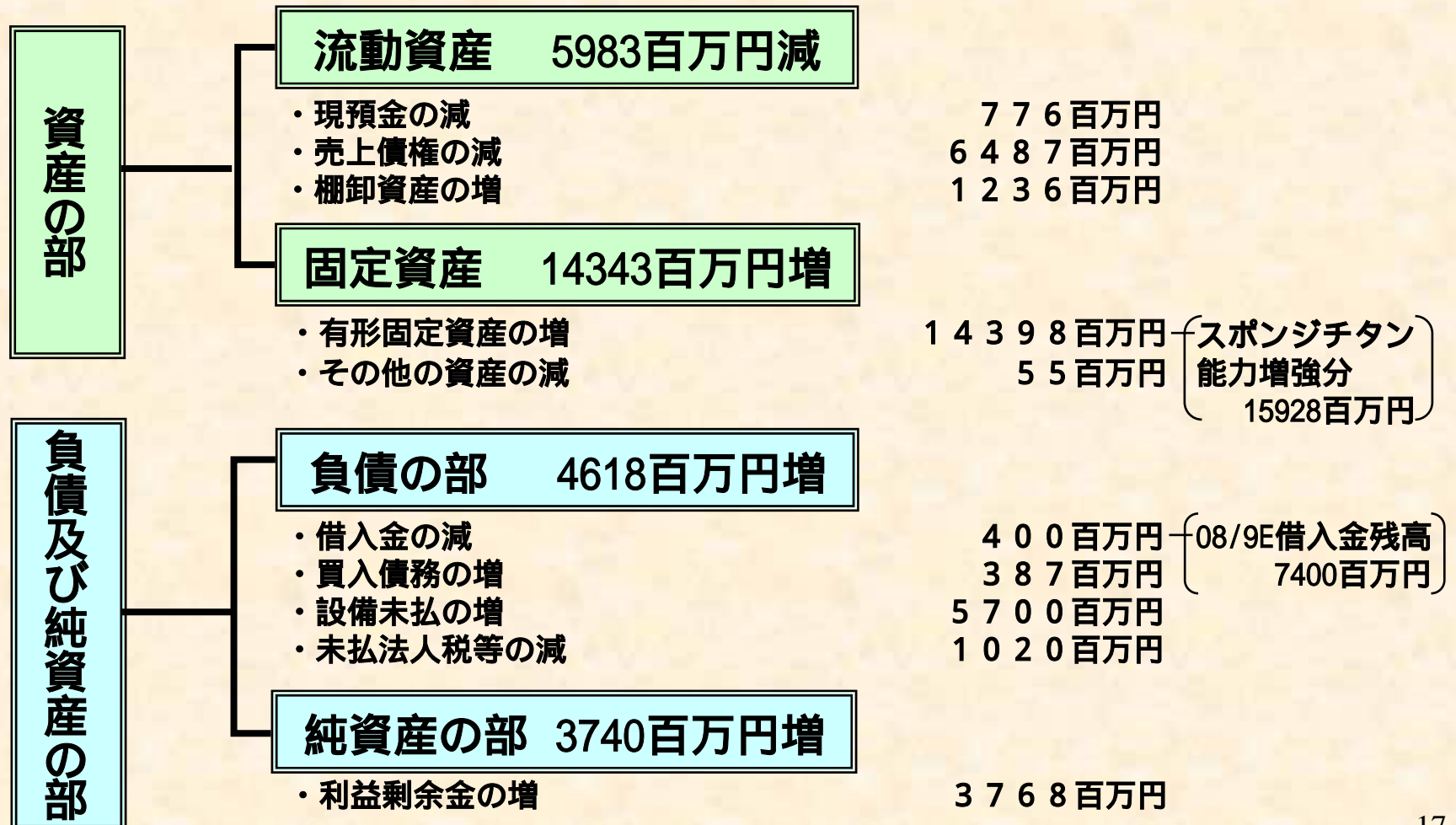
08年度  
(見込み)  
(08/10発表)

	売上高	営業利益	
チタン事業	40000	(27.0)	10800
その他事業	17000	(37.6)	6400
計	57000	(30.2)	17200

( ) 内は対売上高比

# 2008年度上期・B / S

「総資産」：前年度末比 8359百万円の増 (08/3E 72319 08/9E 80679百万円)



(参考)

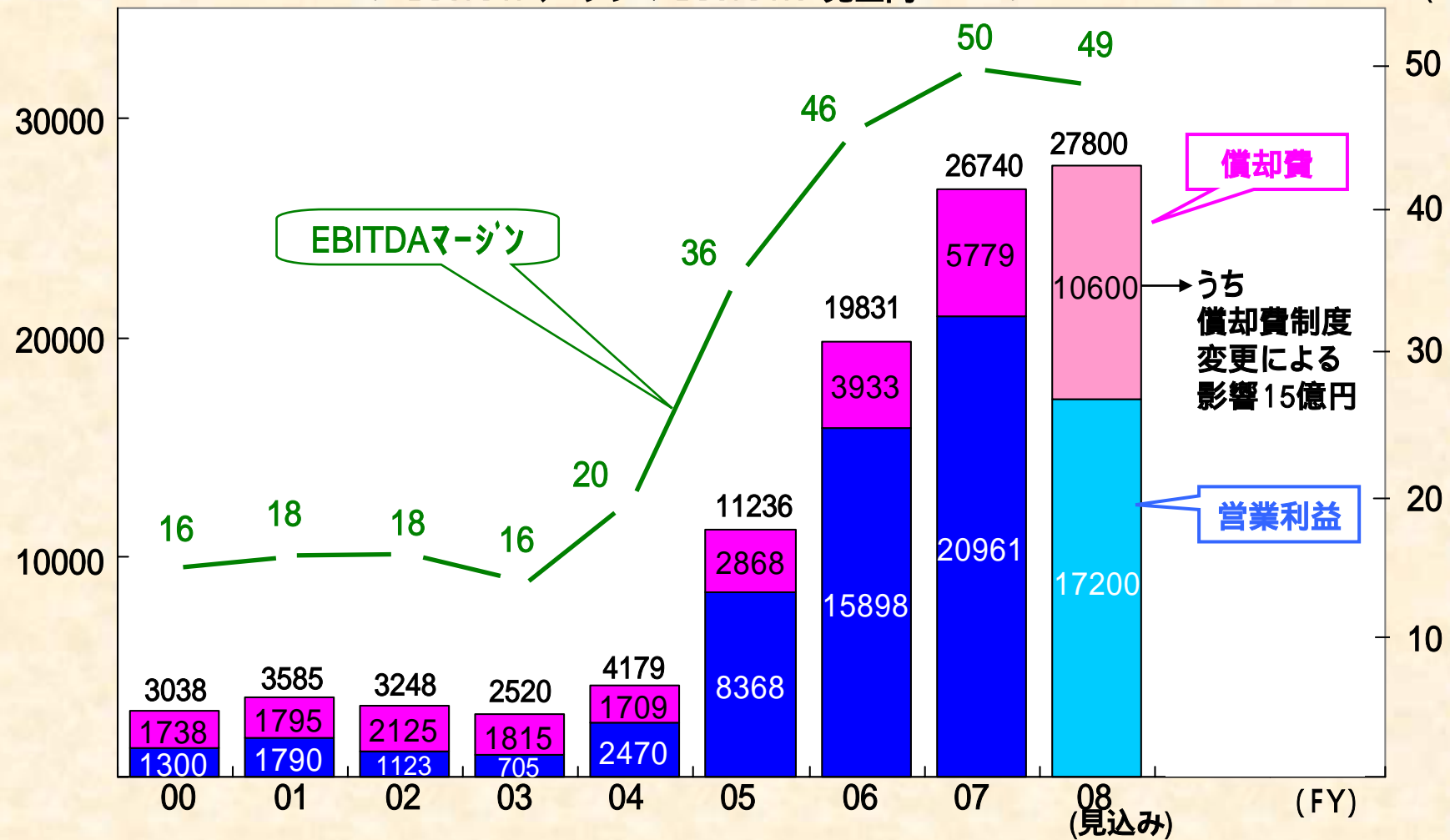
# EBITDA 及び EBITDA マージン

EBITDA(百万円)

EBITDA : 営業利益 + 償却費

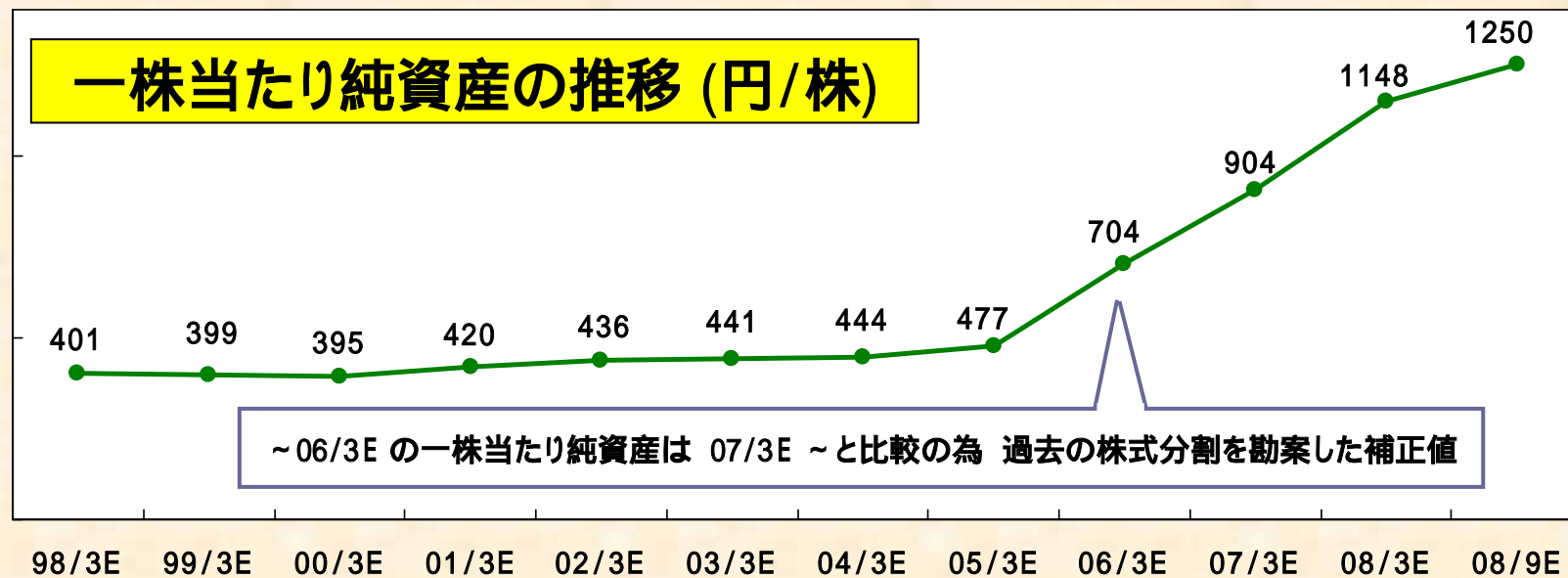
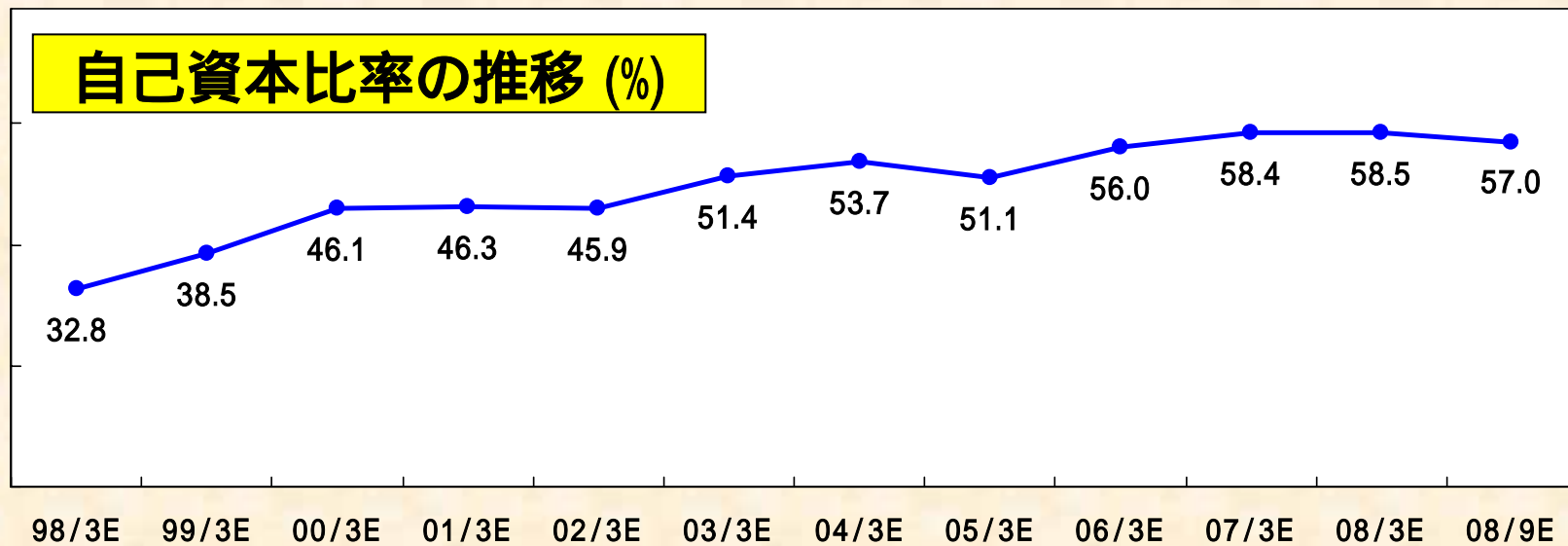
EBITDA マージン : EBITDA / 売上高

EBITDA マージン (%)



\* EBITDA(イ-ビ'ットデーイ-エ-) : Earning Before Interest Taxes Depreciation and Amortization

(参考)

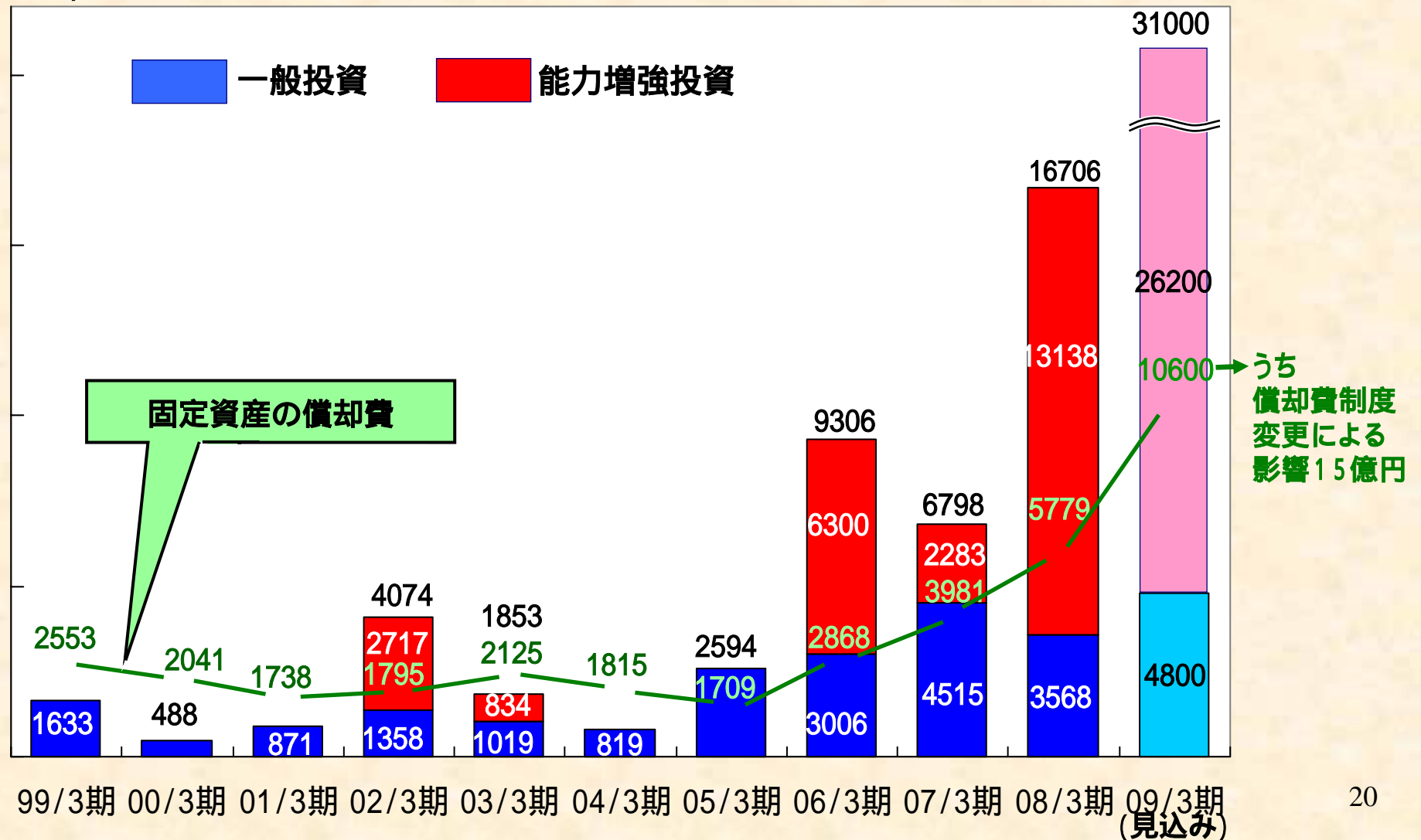


(注: 円未満切捨て)

(参考)

## 設備投資(土地除く)と償却費の水準

(百万円)



# 特記事項

当社製品の市場の現状

当社の生産対応

# 当社製品の市場の現状

---

## ・チタン事業

- ・国内：国内向けスポンジチタンの需要動向 (23 ~ 24 P)
- ・輸出：民間航空機向けスポンジチタンの需要動向(25 ~ 32 P)

## ・その他事業

### ・多結晶シリコン

- ・太陽電池用需要の拡大により 多結晶シリコン市場の需給は極めてタイト

# 国内向けスポンジチタンの需要動向

## <展伸材用>

・需要の伸びは 当面踊り場か !!

・ ~08年迄:日本の展伸材出荷量は着実に拡大  
(00~08年:年率8%の伸び)

・09年以降:環境・エネルギー対応需要で中長期的な拡大成長見通しは不変なるも  
これまでの拡大成長を牽引してきた中東・中国・インドの経済状態急変



**当面の需要拡大に 不透明感**

## <鉄鋼添加材用>

・需要の伸びは当面踊り場へ

〔 ・日本の高炉メーカー  
・08/下は減産(対上期)モードに  
・自動車用鋼板の減少  
(自動車生産台数の減少) 〕

・供給は中国を主体に拡大



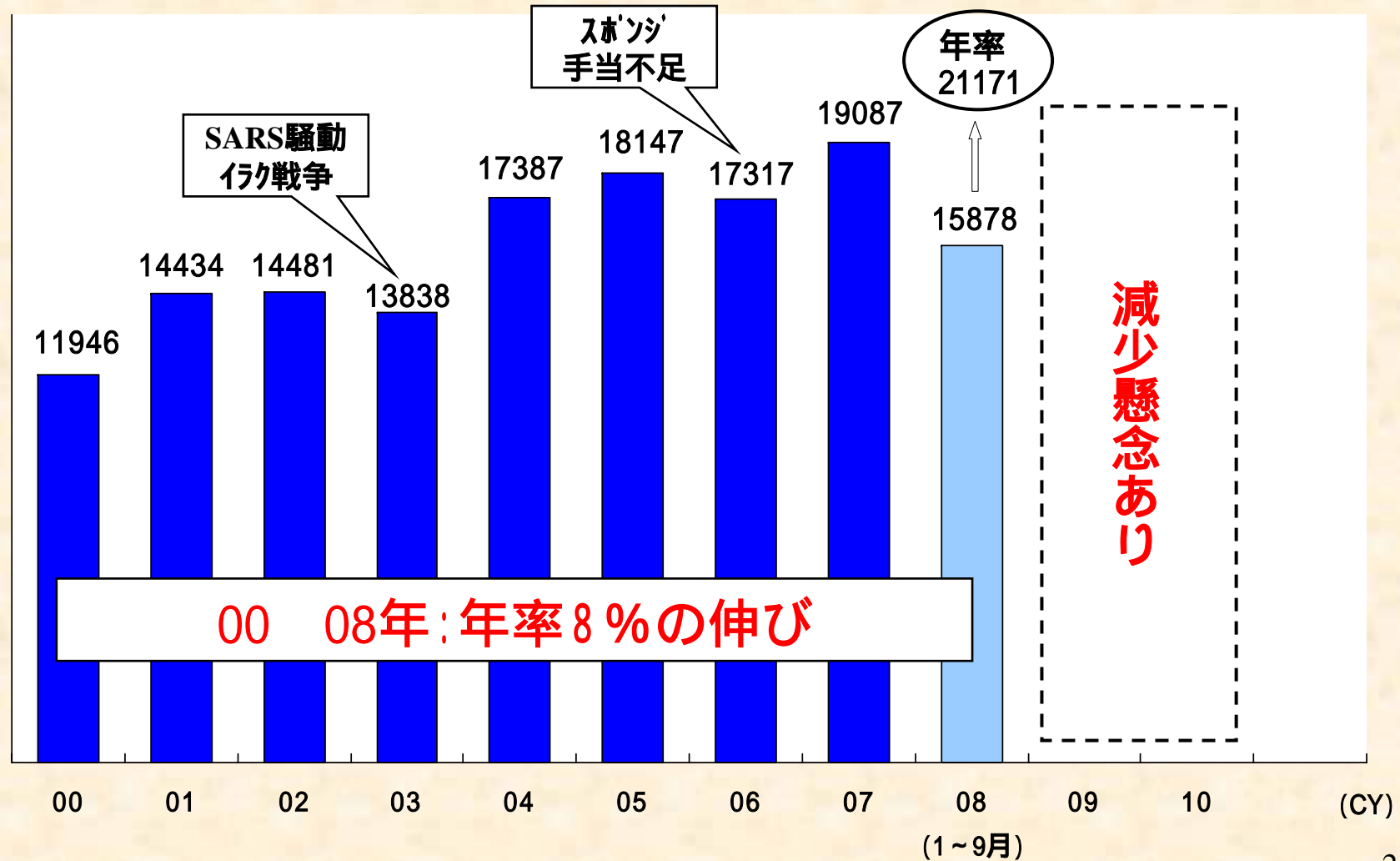
**B級スポンジの需給は 軟化状況に**



(参考)

# 日本の展伸材出荷量

(t)



# 民間航空機向けスポンジチタンの需要動向

〈ボーイング・エアバス〉  
受注状況

・受注好調



・受注残 更に拡大  
(7年分以上の注残水準)

〈ボーイング・エアバス〉  
生産・納入状況

〈ボーイング〉

・「B787」の大幅納入遅延

(08/4に09年末までの納入機数を 109 25機に修正)

・08.9.6よりのストライキにより機体生産の全ライン停止  
(ストライキは11/2に解決)

・このストライキの影響に加え、その後の08年内予定のテストフライトの延期発表もあり

「B787」の更なる納入遅延の懸念拡大

〈エアバス〉

・08/10に当面の機体納入ピッチのスローダウン化発表



〈スポンジチタン需要への影響〉

〈中長期的にみれば〉

航空機用チタンの  
確定需要 更に拡大



〈スポンジチタン需要への影響〉

〈短期的にみれば〉

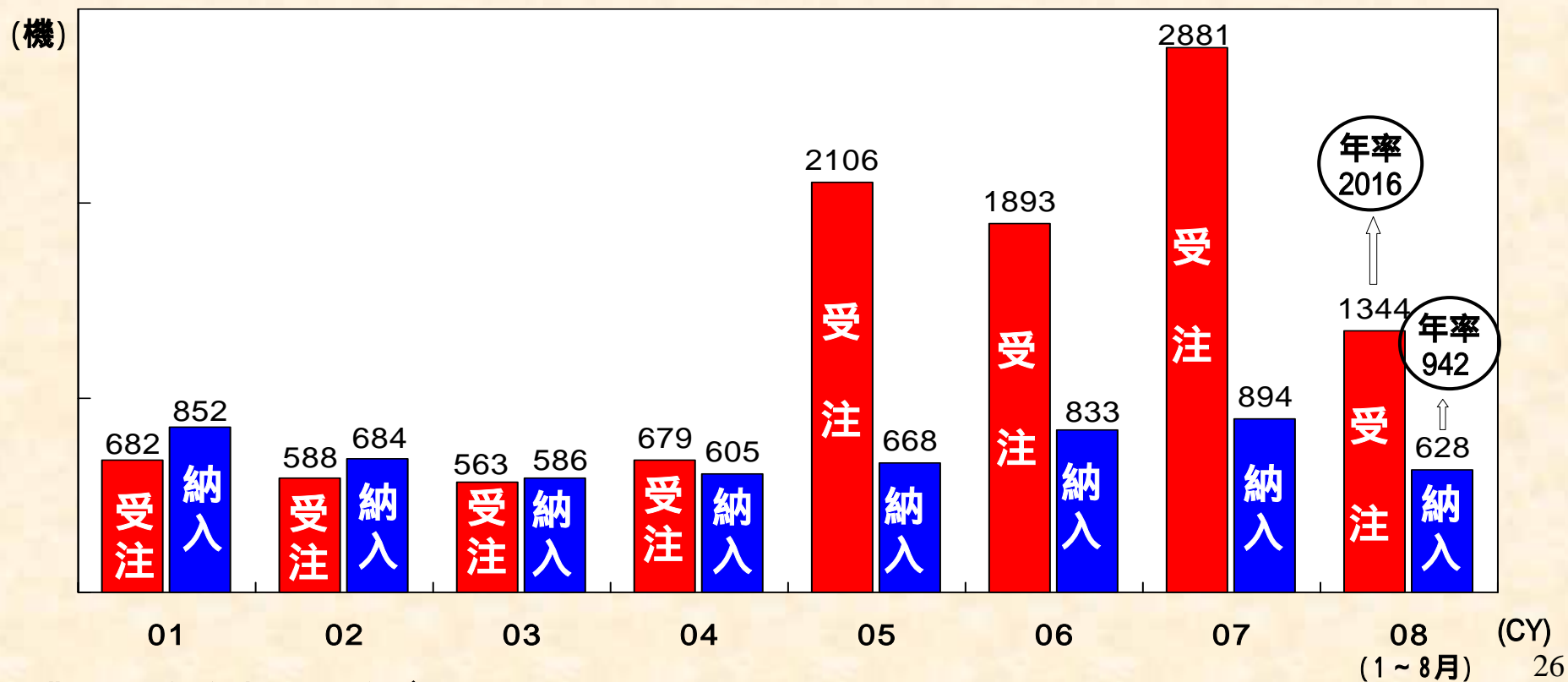
航空機用チタンの  
相当規模の一時的な在庫調整必至

# 民間航空機の受注・納入機数 (ボーイング+エアバス)

・ 2004 ~ 受注 > 納入 (受注残の拡大)



・ 08年も受注好調 08年においては 1000機程度受注残が拡大する見込み



出典：日本航空機開発協会データより

(参考)

## 新型機の受注状況(現状)

- ・ 08年に入っても受注好調 受注残拡大
- ・ 「B787」は納入遅延問題より受注ピッチがダウンする中、エアバスの同規模機の「A350」の受注ピッチは 07年度よりアップしており、中型新型機の需要は強い

(機)

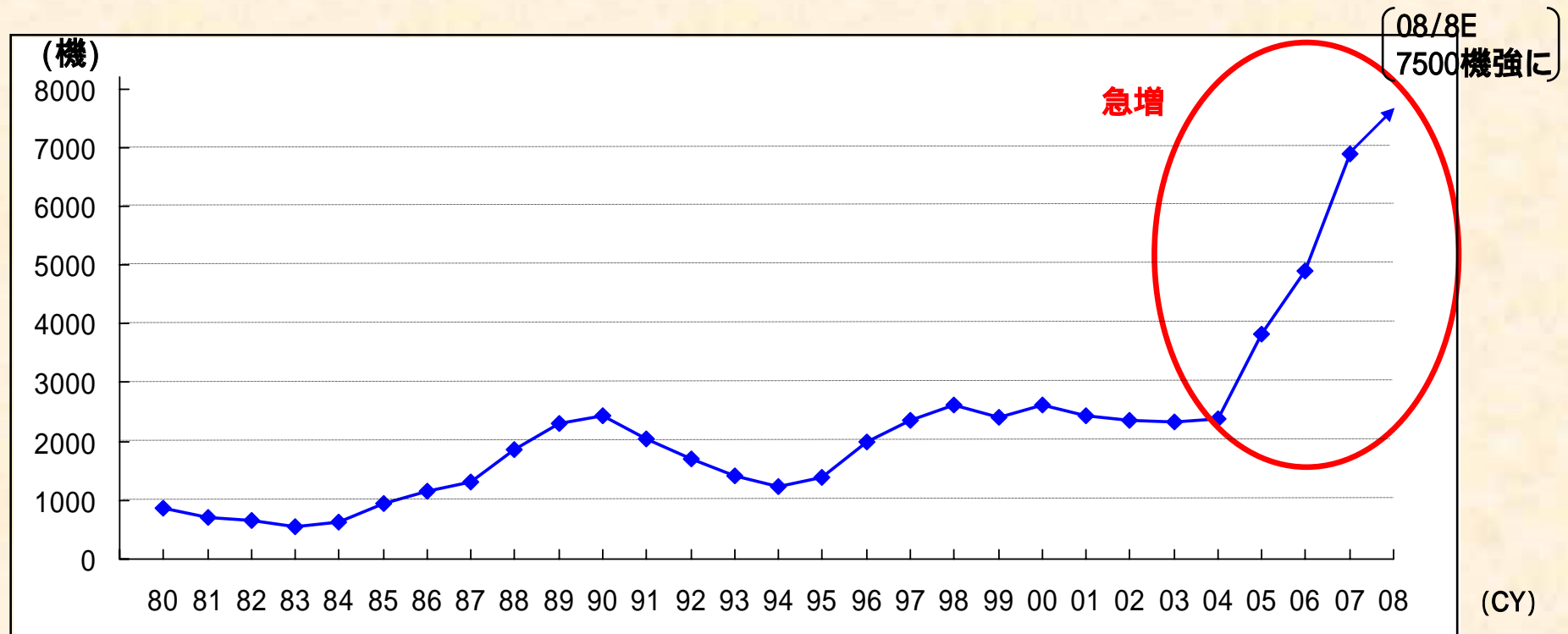
			受注状況		
			06/12E	07/12E	08/10/7 時点
ボ - イング	B-787	確定	448	817	895
		オプション	263	383	429
		小計	711	1200	1324
エアバス	A-350	確定	102	320	571
		オプション	20	93	116
		小計	122	413	687
	A-380	確定	166	189	206
		オプション	35	29	36
小計	201	218	242		
確定			716	1326	1672
オプション			318	505	581
合 計			1034	1831	2253

出典：日本航空機開発協会データより

# 民間航空機の受注残推移

(ボーイング+エアバス)

- ・ 受注残は 2005年より急ピッチで増大
- ・ 08年に入っても更に増大 (08/12Eには8000機レベルに)
- ・ 受注残中の新型機比率は 07年末より更に拡大へ

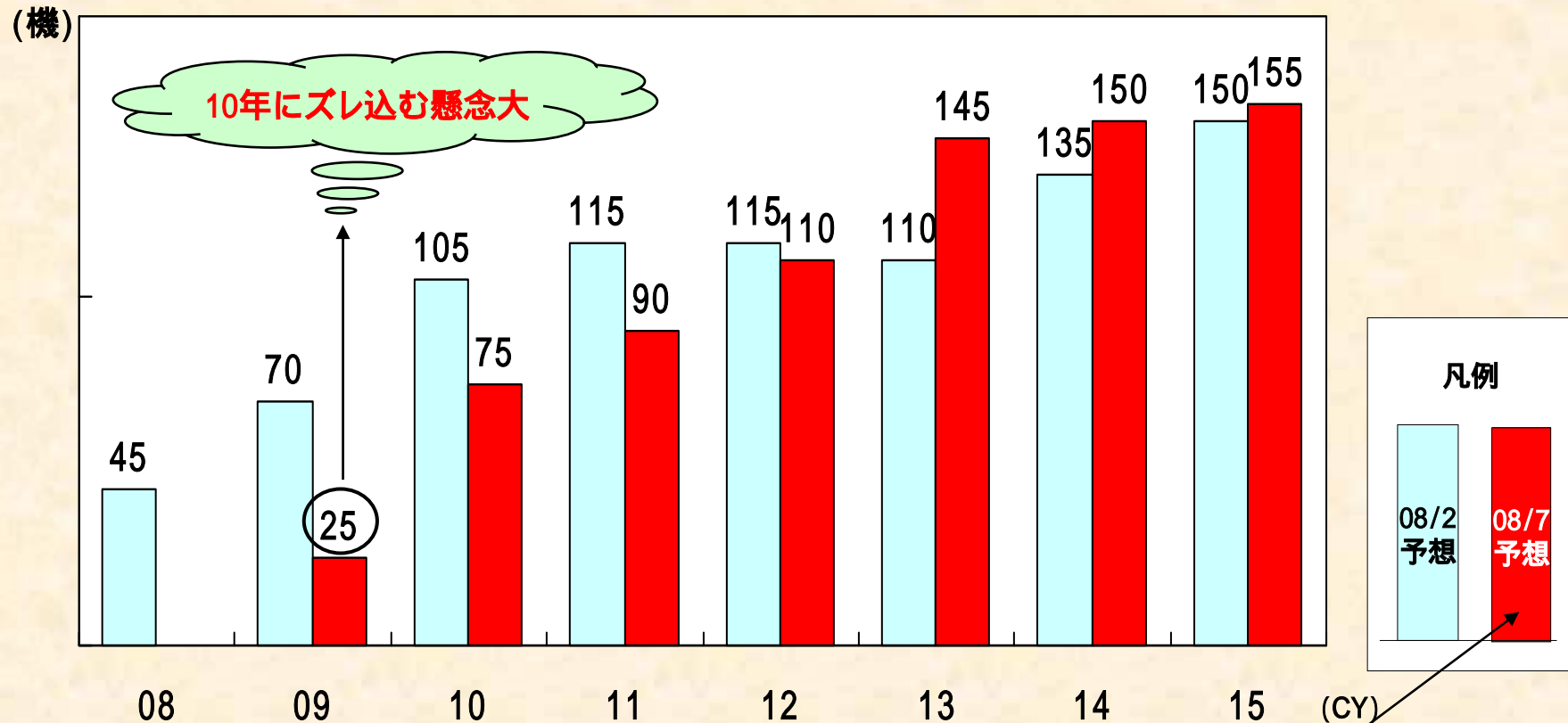


注：受注残・・・オプション契約は含まない確定受注分のみ



(参考)

## B787のデリバリー機数(予想)



ボーイング社ストライキ発生前の予想

# エアバスの生産調整について

---

## <エアバス社の生産調整>

(08/10 エアバス社発表)

・当面の生産機数圧縮(約1割)

<背景>

・旅客数の減少(次頁参照)



エアラインから納入ペースのスローダウン化要請



## <スポンジチタン需要の影響>

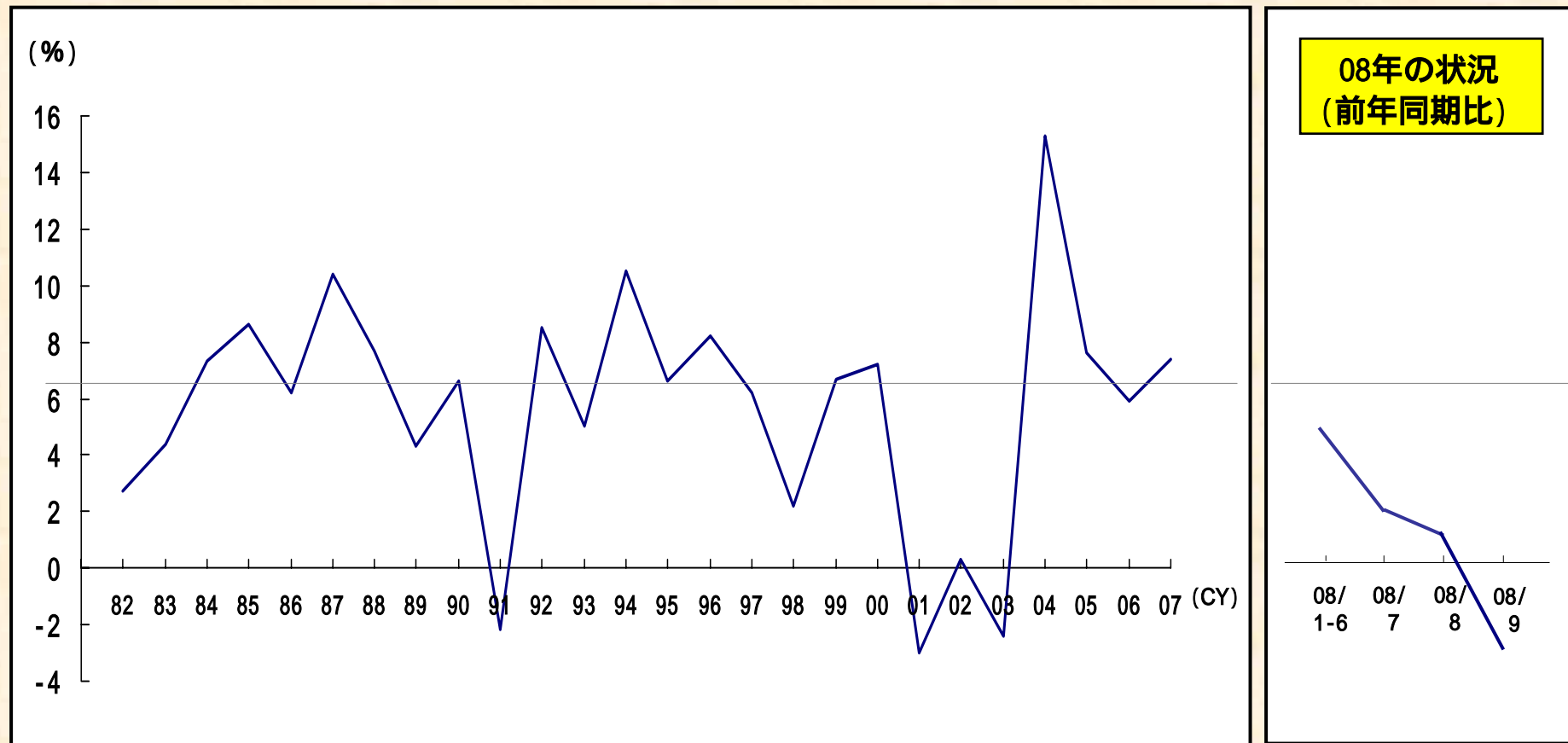
**在庫調整必至**



(参考)

## 輸送量(有償旅客距離)の伸び率(対前年)

・ 08/7より大幅ダウン、08/9には 03年以来のマイナス成長

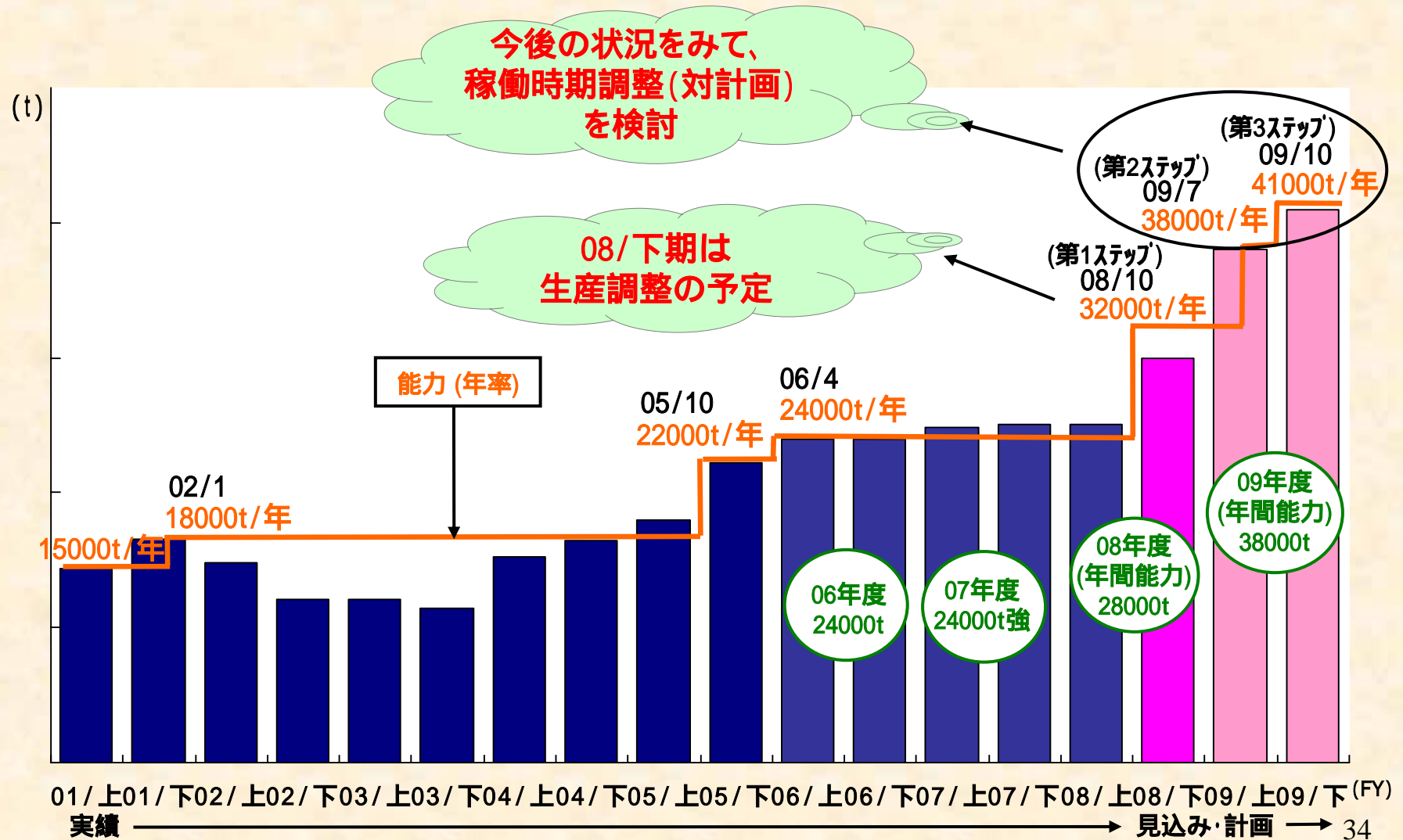


# 当社の生産対応

---

- ・スポンジチタン:生産能力増強計画と生産対応
- ・多結晶シリコン:生産能力増強計画と生産対応

# スポンジチタン:生産能力増強計画と生産対応



# 多結晶シリコン：生産能力増強計画と生産対応

計画通りの能力増強に加え、生産性向上による生産量拡大を推進中

